

「とよなか散策」スポット紹介 その②⑧小石塚古墳

小石塚古墳(国指定史跡)は、全長が49m、後円部直径29m・高さ3m、前方部幅21m・高さ1.5mの前方後円墳です。当古墳は南接する大石塚古墳とともに桜塚古墳群の成立期を代表するものであり、南北方向にほぼ同じ主軸で築造されています。

昭和54年(1979)に行われた史跡整備事業に伴う調査の結果、墳丘上からは円筒埴輪・朝顔形埴輪、そして壺形埴輪(市指定文化財)が出土していますが、正確な出土位置がわかる状態ではありませんでした。これらの埴輪は4世紀後半の特徴を示し、桜塚古墳群中では大石塚古墳に次ぐ古さです。後円部では粘土槨による主体部(未調査)が確認されており、槨は形状からして長さ5mの割竹形木槨と推定されます。

周濠は墳丘の東側だけに存在する特異な形態であり、墳丘西側は自然地形を生かし 特に掘削は行っていない

ようです。これは大石塚古墳も同様です。また、当古墳は周濠周辺など墳丘以外からも墓が見つかっています。見つかった墓の大半は円筒埴輪を棺として転用したもの(円筒埴輪棺)であり、多様な古墳時代の階層や社会の一端がうかがえます。

現在、大石塚古墳と小石塚古墳の中間地帯は開放区域として整備され、ベンチや古墳の説明板などが設置されています。



当番ボランティアを募集

原田しろあと館の開館日である土・日に、月1～2回ほど、施設の清掃などの当番ボランティアをしてみませんか。ガーデニングの好きな方の参加も大歓迎です。ボランティアをすることで、生活の中にちょっとしたアクセントがつかうのではないかと思います。お気軽にお問い合わせください。

原田しろあと館 春先の花たち

寒い冬が終わり、原田しろあと館の庭にも春が訪れ、草花が思い思いの花を咲かせていました。



スイセン



リュウキンカ



リキュウバイ



ツツジ



カンアヤメ



ユキヤナギ

総会の報告

5月2日(金)、今年度の通常総会が行われ、来賓として、岩元教育長、北村教育委員会事務局次長、久住社会教育課主幹、橘田郷土資料館館長の皆さんにお越し頂きました。また、長内市長からはメッセージを頂いており、岩元教育長に代読していただきました。

本人出席12名、委任状出席15名で総会が成立。今年も出席者の半数が女性となりました。1号議案から6号議案まで、提案通りすべて承認されました。新役員の選出では、子育て真っ最中の女性が理事に信任されたことが大きな特徴となりました。引き続き、茶話会が行われ、皆さんそれぞれの近況報告などの話題で楽しいひと時を過ごしました。



原田しろあと館の一般公開は、土曜・日曜の12:00～16:00(入館は15:30まで)となっています

＝後 記＝

・今年度早々、日経新聞で原田城跡と千里川の飛行機発着スポットが記事になりました。ここ数年、この二つをコースにして歩かれる方が増えています。
・豊中市では2年後をめどに、発着スポット周辺を「観光スポット」とする工事を進めています。
・また、曽根駅東のバイキングビルは4年後をめどに10階建てのビルにして、2～3階を図書館とすることが決まっています。それに伴って、そね坂通りの整備計画もあるように聞いています。曽根の町もだんだんと変わっていくようです。(Y)

市民交流の場 原田しろあと館

発行：特定非営利活動法人とよなか・歴史と文化の会
〒561-0801 大阪府豊中市曽根西町4-4-15
TEL & FAX: 06-6841-3725(土・日 12時～16時)
Eメール: toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL: https://harada-shiroato.org

Vol.77



七夕飾りが季節を感じさせます

【6月 7月の催し物】

6月	
1日(日)	こども広場
7日(土)	クラシックレコード鑑賞
8日(日)	こども広場
14日(土)	自由見学
15日(日)	ミニコンサート
21日(土)	ジャズレコード鑑賞
22日(日)	地域史講座
28日(土)	オールディーズCD鑑賞
29日(日)	自由見学
7月	
5日(土)	クラシックレコード鑑賞
6日(日)	こども広場
12日(土)	自由見学
13日(日)	こども広場
19日(土)	自由見学
20日(日)	地域史講座
26日(土)	ジャズレコード鑑賞
27日(日)	しろあと寄席

6月22日(日)「地域史講座 豊中市域の水とくらし」
前編 ～丘陵・ため池・用水路から～
7月20日(日) 後編 ～川と低平地の水路を巡る～



当会の会員でもある瀧 健三さんが本年1月に『探訪豊中 水とくらし丘陵・川・ため池・用水路』を発刊されました。

農業地域から住宅都市への移行がいかなる問題とともに進行していったのかを丹念な取材に基づいて解き明かす「豊中の歴史の金字塔」と大阪電気通信大学小田康德名誉教授が絶賛されています。本書は1989(平成元年)年から1995(平成7年)年までの間、豊中市域に在住の古老の方々から聞き取り取材した情報を元に、豊中市域が市街化し土地利用が大きく変貌していく以前のくらしについて、主に水利や治水の営みを通して



樋門

その一端に迫ろうとしたものです。私達の暮らしにとって、今も昔も無くてはならない水。その変遷を辿ると共に、豊中市の変貌も知る事が出来ます。筆者を講師に迎えて、質問コーナー等でより知識を深めて頂くのも良いと思います。今年度前半期の注目の講座です。



羽鷹池



親水路

講師：瀧 健三さん

6月15日(日) 新緑の風に乗って
～アルパとギターのコンサート～

いつも安定の演奏で安らぎの時間を提供頂いている人気のアルパコンサート。今回はなんと、3/1の全日本アルパコンクールで銀賞を獲得された大宅美宇さんが出演されます。お一人の独奏コーナーもあるとの事で、その演奏も楽しみです。

演奏予定曲：コーヒールンバ、満月、ジェガーダ 他
出演：増永雅子 山下純佳 大宅美宇(アルパ) 山田恵範 田村恵子(ギター)



前回の演奏風景

7月27日(日) しろあと寄席「落語と詩吟」

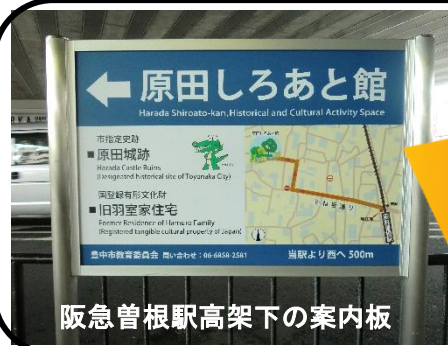
「しろあと寄席」は前半アマチュアの方々に出演頂き、後半はプロの落語家の方の一席を楽しむ寄席です。今回の前半は「吟遊会」の皆さんの登場です。しろあと館では初めての詩吟。日頃なかなか見たり、聞いたりする機会がないと思いますが、是非生の詩吟を味わってください。落語と詩吟。どんな寄席になるのか楽しみです。そしてトリは勿論、桂枝女太さんです。

出演：桂枝女太さん、吟遊会

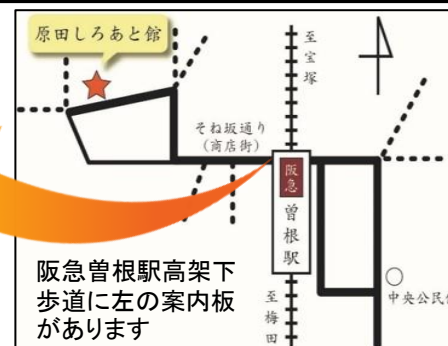


桂枝女太さん

吟遊会



阪急曽根駅高架下の案内板



阪急曽根駅高架下歩道に左の案内板があります

原田しろあと館は、NPO法人とよなか・歴史と文化の会が、豊中市教育委員会からの委託を受けて管理・運営をしている市民交流のスペースです。多世代を対象に、さまざまな催しが行われています。また、四季折々の風情を楽しむこともできます。一度、遊びに来てください。